

イヴレス(7125)

ホテル開業支援の新規案件獲得増と受託運営ホテルの稼働率上昇。4件目の受託運営稼働が通期で寄与へ
TOKYO PRO Market | ホテル向け客室備品提供 | 業績フォロー



フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7125:JP | REUTERS 7125.T

- 2021/10通期は、売上高が前期比3.5%増、営業利益が▲70百万円、経常利益が▲63百万円、当期利益が▲65百万円と前期から赤字転落。
- 資金繰りの安定性確保、需要回復に備えた資金確保のため第三者割当増資により91.2百万円を調達。継続的な成長に向け基盤を強化した。
- 2021年11月に同社が受託運営する4件目のホテル「yksi STAY」を東京にオープン。本格稼働による通期業績への寄与が期待される。

What is the news?

12/23発表の2021/10通期は、売上高が前期比3.5%増の10.72億円、営業利益が前期の31百万円から▲70百万円へ、経常利益が同43百万円から▲63百万円へ、当期利益が同2百万円から▲65百万円へ赤字転落。売上面では、ホテル客室備品事業で顧客となる国内宿泊施設の稼働率低下が響いたが、ホテル開業支援事業での新規案件獲得に加え、ホテル受託運営事業で稼働率が堅調に推移したことにより増収を確保。一方、利益面で想定外の調達コスト発生等や販管費の増加が響き、赤字転落となった。

セグメント別業績は以下の通り。①ホテル客室備品事業は、売上高が前期比25.9%減の4.48億円、セグメント利益が前期の18百万円から▲58百万円へ赤字転落。国内宿泊施設の稼働率低下を受けて消耗品及びアメニティの販売が減少したほか、開業納品案件の遅延等が影響し売上が減少した。②ホテル開業支援事業は、売上高が同32.1%増の2.09億円、セグメント利益が前期の2百万円から▲36百万円へ赤字転落。新規開業に伴う調達代行を行うPA業務で複数の案件を受注し増収となった一方、想定以上に調達コストが増加し赤字となった。③ホテル受託運営事業は、売上高が同51.9%増の4.14億円、セグメント利益が同2.7倍の12百万円。同社が熱海、伊豆、沖縄で運営する、リゾート地のスモールラグジュアリーをコンセプトとした小規模ホテルはコロナ禍においても需要が堅調であり稼働率が上昇。3施設運営体制の継続が奏功して増収増益となった。

How do we view this?

2022/10通期の会社計画は、売上高が前期比1.2%減の10.59億円、営業利益が▲25百万円、経常利益が▲21百万円、当期純利益が▲22百万円と前期から赤字幅縮小。同社は赤字転落により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在するとしているが、状況の解消に向け、引き続き高付加価値の商品開発、高採算案件の獲得に努めるとともに、ECサイトを通じたB to C事業等の新規事業の早期展開に取り組むとしている。

昨年11月には第三者割当増資により91.2百万円を調達した。資金繰りの安定性確保による基盤強化に加え、新型コロナの規制緩和に伴う旅行需要回復のタイミングを見据えており、投資の効果発現が期待される。

2021年11月に同社が受託運営する4件目のホテル「yksi STAY」を東京にオープンした。2022/10期の同社の業績は、同ホテルの本格稼働がフルに寄与することにより業績の反転回復の見込みが高まろう。

業績推移

事業年度	2019/10	2020/10	2021/10	2022/10F
売上高(百万円)	966	1,036	1,072	1,059
経常利益(百万円)	2	43	-63	-21
当期利益(百万円)	-3	2	-65	-22
EPS(円)	-6.42	5.05	-112.93	-39.11
PER(倍)	-	475.25	-21.25	-
BPS(円)	132.27	137.32	24.39	-
PBR(倍)	18.14	17.48	98.40	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 2,400 2022/2/22(基準値)

会社概要

1990年に代表取締役社長の山川景子氏が、大阪市に前身となる書籍出版会社を設立。1998年にイヴレスに商号変更し、オリジナルデザインのホテルアメニティおよび備品の企画販売を開始した。

その後は、2017年に調達代行のPA(Purchasing Agent)業務を開始後、2018年にホテル受託運営事業を開始。更に、2020年には広告宣伝コンサルティングおよびインフルエンサーマーケティング関連事業に続き、イヴレス公式ショッピングサイトを開設した。2021年7月28日にTOKYO PRO Marketへの新規上場を果たした。

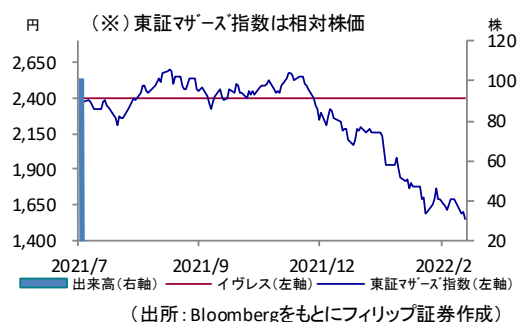
主な事業は、以下の3事業である。

①「ホテル客室備品事業」:オリジナルデザインのアメニティ、消耗品および備品を企画し、宿泊施設に提案・販売する事業である。開業時にそれらを宿泊施設に納入し、開業後には継続してアメニティと消耗品を納入する。

②「ホテル開業支援事業」:PA業務を主な事業とする。オリジナルデザインに限らず、開業時に必要な家具および備品等の一括調達・コンサルティングを実施するほか、同時に開業コンサルティングを提供する場合もある。

③「ホテル受託運営事業」:不動産デベロッパーや物件オーナーからリゾートホテル等の宿泊施設の運営を受託し、運営利益の一部を同社の収益とする。

企業データ



主要株主(2022/1/31)

株主	(%)
1.アヴィ株式会社	67.15
2.山川 景子	17.78
3.浮舟 邦彦	4.85
4.山川 徳久	3.24

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

山口 亮太

ryota.yamaguchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
日本証券アナリスト協会検定会員 山口亮太

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。